

北 北海道交通セミナーin 稚内

北・北海道地域の交通利便性について



とき / 2002年1月19(土)14:00 ~ 16:55

ところ / 稚内総合文化センター 2階会議室

主催 / 北・北海道交通研究実行委員会

協力 / 創造と改革(旭川市) 北の星座共和国建国推進事務局

後援 / 国土交通省北海道運輸局、経済産業省北海道経済産業局、北海道、稚内市

開催にあたり：実行委員長 小川 文三

宗谷地域の交通網は、歴史的にみると、旧天北線（北見線）や宗谷本線など、鉄道の敷設により始まり、水産業、水産加工業、鉱業（石炭、金鉱等）酪農業、及び観光業などの飛躍的な進展により、地域の発展を支えて来ました。

しかし、時代的变化は鉄道の閉鎖を生み、その反面、道路整備の推進や稚内空港の整備拡充の方向に進み、今や、そういった交通網の体系的、総合的整備が新たな課題となりつつあります。

加えて稚内市は、対岸のサハリンや利尻・礼文などへの北の玄関口という使命と役割があり、文字通り「陸・海・空」の交通体系、交通アクセスを広く考える時期であると認識するものであります。

今回は、宗谷地域において、より良い交通体系のあり方を検討し、実行に結び付けていくことで地域の発展を促進すべく、本セミナーを開催致します。宜しくお願いします。

プログラム

受付 13:30～14:00

開会挨拶 14:00～14:10

司会 小野寺 康充（北・北海道交通研究実行委員会 事務局）

開会挨拶 北・北海道交通研究実行委員会 実行委員長 小川 文三（稚内市）

来賓挨拶 北海道議会議員 岡谷 繁勝 様

北海道宗谷支庁 地域政策部長 二瓶 文夫 様

基調講演 14:10～15:10

「宗谷地域の総合交通体系の整備について」

講師 鈴木 文彦 氏（交通ジャーナリスト）



1956年山梨県甲府市生まれ。東北大理学部、東京学芸大（修士課程）では地理学を専攻。現在、フリーの交通ジャーナリストとして活躍する。月刊雑誌「鉄道ジャーナル」「総合交通」のレギュラー執筆のほか、日本バス友の会企画部長、日本交通学会会員、鉄道史学会会員、学校法人竹早学園非常勤講師（地理学担当）等を兼務する。その他、バスや鉄道に関する論文・取材記事や、「高速バス大百科」「はじめての高速バス」（中央書院）、「路線バスの現在・未来」（グランプリ出版）、「多摩の鉄道百年」（分担執筆・日本経済新聞社）、「よみがえる過疎バス」（日本バス友の会）など、著書も多数。また、国土交通省、都道府県、自治体等での委員として、あるいは全国各地のバス事業者等でのアドバイザーとして活躍する。東京都在住。

講演の詳細については、レジメをご参照下さい。

休憩（自由討論準備） 15:10～15:15

ワークショップ・自由討論 15:15～16:50

「宗谷地域における交通を考える」

コーディネーター 石井 栄三 氏（ミル企画 代表）

検討課題 航空路線、鉄道線、バス路線、道路網、海路、運送関連 など

参考資料 北・北海道交通セミナーin あさひかわ概要（2001年11月10日に旭川駅2階で開催されたセミナー。メディアあさひかわ1月号記事参照） ほか

閉会挨拶 16:50～16:55